

伊賀市議会 だより

No.83
2025.11.1

行ってみよう 聞いてみよう!

花垣地区市民センター

<主な掲載内容>

特集 令和6年度決算 チェック!どんなことに使われたのか・・・P2～3

9月定例会会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4

市政を問う 一般質問・・・・・・・・・・P7

活動報告・・・・・・・・・・P13

インタビュー 人と地域がつながってイキイキ活動紹介・・・・・・・・P16

花垣地区住民自治協議会

前列左から 市民センター所長

後列左から 副会長

デジタル担当

会計

副会長

副会長

勝島 寿男

田中 政次

佐原 龍一

井本 修三

大久保 千秋

森中 祐作

会長

副会長

副会長

生涯学習支援員

市民センター事務員

上島 啓二

藤永 正義

南 高晴

堀 百合子

的場 正美

マスコットキャラクター

エリザベス・ハイネちゃん

関連記事は 16 ページ

令和6年度決算

チェック!

無駄な事業や問題点がなかったか。来年度予算編成に生かせるよう

令和6年度伊賀市一般会計歳入歳出決算

質疑（決算常任委員会 9月16日～17日）

総務費

問 交通先進地視察の成果は。どのように生かされますか。

答 富山県の観光列車は、ただの交通手段だけではなく、伝統・文化・観光を体感していただく取り組みでした。関西本線活性化利用促進三重県会議の取り組みとして関西方面からの観光客誘致に繋がりたいです。



JR西日本提供

実証実験で関西本線に乗り入れる
観光列車「はなあかり」

民生費

問 タクシー料金等助成費の今後の増額はありますか。

答 令和3年度より倍増しているが、物価高騰をみながら今後も見直していきます。

衛生費

問 太陽光発電設備等設置費補助金の内容と実績は。

答 三重県が取り組む事業です。個人向け補助金で令和6年度で10件の実績があり、令和9年まで実施します。

討論（決算常任委員会 9月17日）

賛成 衛生費の環境センター維持管理経費について、河川水質や悪臭の測定、振動・騒音調査の継続が必要で専門知識を持つ人材確保と技術の継承が課題です。「伊賀市あき地の雑草等の除去に関する条例」に基づく事務について、所掌事務の見直しが必要です。また、教育費の放課後子ども教室推進事業において、物価高騰に影響を反映した適切な委託料の見直しを求めたが、次年度予算において社会情勢の変化を反映させることを要望します。

農林業費

問 団体営ため池等整備事業の内容は。

答 ため池が決壊した場合、人的被害が出ないように調査し、該当ため池に対して県に申請をします。

商工費

問 中心市街地等商店街活性化事業費補助金について、助成対象とその目的は。事業課題の認識は。

答 公募ではなく相談事業者への交付です。各団体が自立して事業を継続できることが本来の目的です。事業実施自体が目的になっていないか等各事業者と話し合っています。

土木費

問 建物除去工事費の内容は。

答 母屋の棟が落ち、地域に危険が及ぶ可能性がある家屋に対し行政代執行を行いました。費用は所有者に請求します。

教育費

問 施設整備事業について

答 伊賀市内小中学校の教室のエアコンの設置状況は、小学校89.7%、中学校90%です。令和9年～10年にかけて特別教室も含め、100%を目指します。

討論（本会議 9月30日）

反対 PFI事業で建設する忍者体験施設関連経費及び地区内に限った合併前からの同和対策事業が含まれている同和行政経費の予算執行は認められません。公営住宅使用料や住宅新築貸付金等の多額の不納欠損処理は公平性に欠けるものであり、滞納時の対応の検証を求めます。

どんなことに使われたのか

決算常任委員会で審査し、本会議で賛成多数により認定しました。

伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算

質疑（決算常任委員会 9月17日）

問 対象となる駐車場の収支状況と、今後の運営方針は。

答 本会計の対象となる駐車場について、中心市街地では上野公園駐車場以外は赤字、JR駅前駐車場は伊賀上野駅が赤字、他駅は収入のみが計上されています。駐車場運営や会計のあり方について年度内に改革の方針を示します。



公営駐車場のあり方は

討論（決算常任委員会 9月17日）

賛成 来年度以降、公営駐車場全体で、エリアの活性化にも資するような戦略的な経営を期待します。

伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算

討論（本会議 9月30日）

反対 令和6年度は65歳以上の約750人の保険料が引き上げられ、基本報酬引き下げにより経営が困難な訪問介護事業所の実態調査も行われませんでした。介護人材確保と訪問介護事業所の事業継続支援を求めます。

伊賀市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算

討論（本会議 9月30日）

反対 令和6年度は、年金収入153万円超の高齢者の保険料及び保険料の上限引き上げが行われました。抜本的な財政支援を国に求めるよう要望します。

監査委員の意見要旨

適正な執行状況であると認められる

本年度決算の結果、一般会計と特別会計を合わせた会計全体の実質収支は5億9千万円の黒字（前年度比52.6%）となり、前年度を下回っているものの、概ね適正な執行状況であると認められます。また、各企業会計についても、経営成績及び財政状態については適正に表示され、かつ、計数も正確であると認められます。

歳入について、重要な財源である市税の調定額に対する収入率は、現年課税分滞納繰越分を合わせて98.1%となっており、前年度より1.1ポイント向上しています。

歳出については、中期的視野に立った効率的・効果的財政運営と、あらゆる分野における費用削減や抑制は不可欠であるが、今後も賃金上昇による人件費や物価高騰による物件費等への影響は少なくなく将来的に経常経費が増大することにより、歳出において選択や裁量の余地が制約を受けることになります。必要な行政サービスを将来にわたって提供していくため、限りある財源を最大限に有効活用し、時代に即した持続力のある計画的な事務執行に務められたい。

（監査委員 岡森 正人・福岡 正康）

審議した議案と各議員の賛否

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：赤堀議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成	反対	議決結果	浅川	内原	大石	陶山	寺村	山口	北山	西田	森中	福村	森川	北森	西口	福岡	宮崎	桃井	山下	赤堀	上田	百上	中岡
				友和	篤	亮子	美佐	京子	康子	太加	方計	秀哲	教親	徹	徹	和成	正康	栄樹	弘子	典子	久美	宗久	真奈	久徳
市長提出議案	令和6年度伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定	18：1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	×	○
	令和6年度伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	18：1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	×	○
	令和6年度伊賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	18：1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	×	○

全員賛成で認定した議案

市長提出議案	●令和6年度伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	●令和6年度伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定
	●令和6年度伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	●令和6年度伊賀市病院事業会計決算の認定
	●令和6年度伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定	●令和6年度伊賀市水道事業会計決算の認定
	●令和6年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定	●令和6年度伊賀市下水道事業会計決算の認定



伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会設置条例の制定 適地選定委員会の共同設置に関する協議

ごみ処理広域化施設 適地選定委員会を設置へ

全員賛成で
可決

伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村の4市町村が共同で設置しようとする新たなごみ処理広域化施設について、その建設予定地を選ぶための委員会を設置する条例を定め、その委員会の共同設置に関する協議を行うものです。

●主な質疑（総務常任委員会 9月22日）

問 適地選定委員会の仕事の内容は。

答 候補地の状況確認や評価基準、候補地の比較検討・順位付けを行い、市町村長に答申を行います。

問 伊賀市が率先してこの会議をリードするのか。

答 法定協議会の会長は伊賀市長であり、率先して取り組みます。

問 委員の候補者となる学識経験者はどのような方か。

答 ごみ処理またはごみ処理施設に関する知見をお持ちの方になります。

●討論（総務常任委員会 9月22日）

賛成 立地を早期に決めるべきとの立場から賛成します。人口の多い2市の姿勢に差があるため、2月の基本合意までに早期に調整し、令和16年操業開始の期限を守っていただきたいです。

●討論（本会議 9月30日）

賛成 住民説明や議論を軽視せず、十分な意見交換の場を設けることを求め、賛成します。

①



②



令和16年3月で稼働が終了する

①伊賀南部クリーンセンターと、②さくらリサイクルセンター

伊賀市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

「こども誰でも通園制度」がはじまります。

賛成多数で
可決

「こども誰でも通園制度」は、令和8年度から始まる新制度です。生後6ヶ月から2歳の全ての子どもの健やかな成長を支え、保護者の働き方やライフスタイルに関わらず子育てを応援します。

●主な質疑（教育民生常任委員会 9月18日）

問 月10時間まで利用できる制度ですが利用者のニーズに応えられますか。

答 はい。例えば2時間ずつを5日間利用するといった柔軟な使い方も可能です。今後、国で制度が始まると15時間に拡大する可能性もあります。

問 発達に課題のある子どもや、支援が必要な子どもも利用可能ですか。

答 面談を行い、支援が必要と判断された場合でも利用できます。またアレルギー等の対応も可能です。

問 「こども誰でも通園制度」は一時預かりとは趣旨が異なるのではないですか。

答 一時預かりとは目的が違います。子どもの育ちや保護者の社会参加を支える制度です。

●討論（教育民生常任委員会 9月18日）

賛成 保育士の負担にならないことが重要ではないかと思います。しっかりと事務的な部分を整理していただきたいです。また、保護者や子どもたちのために、この制度がどのような背景で始まっているのか、どのような方に利用していただきたいのかという周知をお願いします。

●討論（本会議 9月30日）

反対 保育士は半数以上で良いとされ、子どもの命を預かる体制とは言えません。現場の負担や預けられる子どものストレスも懸念され、市の責任も曖昧になるため反対します。



工事請負契約

山神橋の橋台工事着工、11年度開通めざす

全員賛成で
可決

経年劣化に加え、平成29年の台風による河川の増水が起因となって破損していた山神橋の橋台工事の工事請負業者との契約を締結、11年度開通をめざし、引き続き工事が行われます。

●主な質疑（産業建設常任委員会 9月19日）

問 当該工事で橋脚の部分は全部完成するのですか。また工期はいつまでですか。

答 その通りです。非出水期の工事となるため、令和8年4月末までには完成する予定です。

問 橋のこれまでの通行量はどのくらいですか。

答 平成29年に被災するまでの交通量は1日に1,600台と確認しています。

問 橋脚のあとは橋台を架けることになりますが、今後の見通しはどうか。

答 来年度は条件護岸の整備、令和9年度に上部工の制作、令和10年度に架設、令和11年度供用開始を予定しています。



令和11年度開通予定の山神橋完成予定図

第3次伊賀市総合計画の策定

まちの将来像を描く総合計画

賛成多数で
可決

市は『第3次伊賀市総合計画』の策定にあたり、議会の承認を求めました。総合計画は、市の将来像や施策の方向を示す最上位のまちづくり計画です。

●主な質疑(総務常任委員会 9月22日)

問 これまで使われてきた「協働」と今回使われている「共創」の定義は。

答 協働はともに取り組んでいくこと、共創は新たなサービス、新たな価値感などを創り出し発展させていくという意味です。

問 まちづくりアンケート調査結果をKPI指標としているが、調査は今後同様に実施するのか。

答 様々な意見を頂戴しており、アンケートの内容や回答のしやすさについて調整します。

●討論(総務常任委員会 9月22日)

賛成 KPIは市民の満足度や参画度を上げることを意識するべきと述べて賛成します。

※ KPI: 目標の達成度を数値などで測るための指標

●討論(本会議 9月30日)

反対 総合計画にある「共創」は、住民自治協議会やNPO、企業などに地域の課題解決や公共サービスを担わせ、行政のスリム化を進める国の動向と重なり懸念があります。同和問題の解決を遅らせる同和施策もあり賛同できません。

賛成 新市長の意欲を尊重し賛成するが、実効性に不安もある。行政が地域の主体性を引き出し、本気の体制整備を期待します。

発議第11号

赤堀久実議長の不信任決議について

賛成少数で
否決

提出者 宮崎 栄樹 森中 秀哲 大石 亮子

令和7年6月17日、会派草の根・無所属フォーラムの森中秀哲議員は、議会運営委員会の北海道登別市議会への行政視察の参加を辞退し、その内容をSNS等で発信した。それに対して6名の伊賀市議会議員が赤堀議長に対して伊賀市議会議員政治倫理条例第4条に基づく調査請求書を提出し、政治倫理基準違反の審査が行われた。地方自治法第104条の規定によれば、本来、議長は、「議場の秩序を保持し議事を整理し、議会の事務を統理し、議会を代表する」ことが職責であるが、この一連の政治倫理審査に関し、議長はその職責を果たさず、対応をさまざまな局面で誤り、市民の市議会に対する信頼と議会内の秩序を著しく損なった。

よって、ここに赤堀議長の不信任を決議する。

●討論(本会議 9月3日)

賛成 市民からも公平性を欠いていると指摘されるような審査会委員を選んだ責任は重いです。

反対 視察中止については、議長が独断で決定したわけではないです。

反対 この機会に視察のあり方を考えようという議長の考えは正しいと思います。

賛成 小さな個々の情報の正確性を最優先し、本質的でない間違いに対して政治倫理審査が適用される前例を作ったことは、市民と議員が言論で繋がる関係を委縮させることに繋がりがかねません。

反対 議長一人を糾弾することでこの分断が修復されるとは思いません。制度の運用に課題があるとすれば、議会として改めて改善の議論を始めることが建設的な責任の果たし方です。

採決の結果、賛成少数のため赤堀議長の不信任決議案は否決されました。

(赤堀議長・福村副議長は採決には入りません。)

請願

義務教育費国庫負担制度の充実を求めること

全員賛成で
採択

教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行
および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること

子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること

防災対策の充実を求めること

【請願者】 伊賀市PTA連合会

会長 福原 武 外2名

【紹介議員】 北山 太加視、西田 方計、

山下 典子、中岡 久徳

【意見書提出先】 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣(防災)(「防災対策の充実を求めること」に関してのみ)

令和7年度伊賀市一般会計補正予算(第4号)

【主なもの】

○窓口業務経費	
機械器具購入費	1,227万6千円
電算機購入費	225万8千円
○青山福祉センター施設改修事業	
福祉センター施設改修工事費	2,274万8千円
○八幡町市民館施設改修事業	
八幡町市民館施設改修工事費	647万9千円
○ごみ処理広域化検討事業経費	
ごみ処理広域化施設適地選定業務委託	485万1千円

質疑(予算常任委員会 9月25日)

総務費

問	キオスク端末(利用者が自分で操作できる自立式端末)の設置時期と設置後どのような効果が見込まれますか。
答	古山、阿波、矢持郵便局に令和8年よりキオスク端末を設置し、証明書発行サービスを実施します。 人の手を介さずに証明書が発行できるため時間の短縮と職員の負担が軽減されます。
問	当初予算で地域防犯カメラ設置支援事業補助金が設置されたが、今回の補正予算の内容と運用規程について教えてください。
答	当初150万円の予算で、8月1日から申請を受付開始したところ、地域からの要望が多数ありましたので今回225万円の補正予算を提出しました。運用規程については、補助金要綱に従い各自治会で運営管理していただきます。

民生費

問	青山福祉センター施設改修事業の内容と工事期間について教えてください。
答	青山福祉センターのガス空調設備の一部が故障し、導入から25年が経過し老朽化が激しく修復不可能と判断し改修工事を行います。 4~5ヶ月間の工事期間を予定しています。
問	八幡町市民館に「いす式階段昇降機」を設置する経緯と内容はどのようなものですか。 エレベーター設置の考えはなかったのですか。 また、建物の耐震性は確保できていますか。
答	指定緊急避難場所に指定されている市民館について、2階の施設を利用する際に階段以外に移動手段がないことからバリアフリー化のため「いす式階段昇降機」の新設工事を行います。 エレベーター設置については、費用面及び設置スペースの面から今回は「いす式階段昇降機」を選択しました。 耐震性は確保できています。

衛生費

問	ごみ処理広域化検討事業経費の内容と負担割合はどのようなものですか。
答	伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村が共同で検討を進めるごみ処理広域化に係る施設の整備に要する適地を選定します。適地選定委員会の業務支援で、負担金は各市町村で均等割です。

農林業費

問	伊賀米生産振興経費の内容について教えてください。
答	国による令和3年度に導入された国産麦・大豆の作付けに対する営農技術導入・機械導入により国内生産安定供給に向けた事業で、市内事業者へのGPS機能付きコンバイン等の導入への補助金です。

審議した議案と各議員の賛否

9月定例月会議

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥 -：採決に入っていない。

件名		賛成：反対	議決結果	浅川友和	内原篤	大石亮子	陶山美佐	寺村京子	山口康子	北山太加視	西田方計	森中秀哲	福村教親	森川徹	北森和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	赤堀久実	上田宗久	百上真奈	中岡久徳
市長提出議案	伊賀市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	18：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	×	○
	第3次伊賀市総合計画の策定	18：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	×	○
議員提出議案	赤堀久美議長の不信任決議	8：10	否決	○	×	○	×	×	×	×	○	○	-	○	×	×	退	○	×	除	○	○	×

全員賛成で可決(同意・採択を含む)した議案

市長提出議案	●令和7年度伊賀市一般会計補正予算(第4号) ●令和7年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ●令和7年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ●令和7年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ●令和7年度伊賀市病院事業会計補正予算(第1号) ●伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会設置条例の制定 ●だんじり会館条例の一部改正 ●伊賀市同和公営住宅運営委員会条例の廃止 ●工事請負契約の締結	●救急自動車の買入れ ●指定管理者の指定(放課後児童クラブフレンズうえの、放課後児童クラブ第2フレンズうえの、成和西放課後児童クラブ、成和東放課後児童クラブ、壬生野放課後児童クラブ、柘植放課後児童クラブ、阿山放課後児童クラブ「ポップコーン」、放課後児童クラブ「ばんきクラブ」) ●伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会の共同設置に関する協議 ●人権擁護委員候補者の推薦(田中 克典氏)
請願	●義務教育費国庫負担制度の充実を求めること ●教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること	●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること ●防災対策の充実を求めること
議員提出議案	●義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出 ●教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行及び教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出	●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出 ●防災対策の充実を求める意見書の提出

市政を問う

一般質問

一般質問は、9月10日、11日、12日の3日間で、14人の議員が市政に対して質問をしました。その主な内容を掲載しています。

二次元コードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧ください。

もりかわ とおる
森川 徹 議員

質問項目

- スポーツ振興とマッチング
- 外国人との共生とは



問 他市に比べてスポーツ施設の整備が遅れているがその認識は

スポーツ振興×観光や、スポーツ振興×防災など、マッチングさせることで相乗効果が得られると思いますがそもそも施設が乏しすぎます。伊賀市のスポーツ施設整備が他市に比べて遅れている認識はありますか。

答 スポーツ施設の整備はかなり遅れていると認識しています

スポーツ施設再編整備計画に基づき進めていますが、なかなか思うように進んでいません。確かに他市に比べて施設整備はかなり遅れていますので今後どのようにしていくのかというのは課題であると認識しています。

問 市長のスポーツ振興の優先順位は

この十数年間スポーツに関わる方々が苦い思いをしてきましたが市長のスポーツ振興の優先順位は。

答 優先順位は高くなっています

市長に就任以来、各種スポーツに取り組んでいる方の思いに触れ、優先順位は自分の気持ちの中で高くなっていますのでしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

問 ひとり親家庭の養育費確保に向けた支援はできますか

公正証書作成費用や戸籍謄本取得費用の軽減を図る補助制度の導入についてお考えを伺います。

答 来年度からの制度創設を前向きに検討します

公正証書作成費用の支援はひとり親家庭の経済的支援や子どもの権利・生活の安定につながります。

問 都市公園の夜間安全確保や子ども・高齢者の見守りはできますか

防犯カメラ設置のガイドライン整備について市の考えはどうですか。

答 子育て世代を含む全ての利用者が安心できる環境整備は重要です

課題抽出と優先順位に基づき、公園整備の方針を策定し、防犯カメラの活用や地域見守り活動を併せて検討します。

問 廃校避難所の安全確保と代替施設の整備

廃校が避難所に指定されています。老朽化により雨漏りなどで利用できない時、どこへ避難すればよいのでしょうか。

答 地域と話し合っていきたい

安全・安心に避難できる代替施設の整備を検討します。

あさかわ ともかず
浅川 友和 議員

質問項目

- 子どもの貧困を放置しない
- 子どもも高齢者も安心して遊べる公園へ
- 老朽化する廃校避難所、伊賀市の安全対策は十分か



やました のりこ
山下 典子 議員

質問項目

- 手話に関する施策
- 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）
- 農業政策



問 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発を

意思決定能力が低下する場合に備えて自分が望む医療やケアについて前もって本人と家族と医師等と一緒に考え共有する取り組みであるACPの啓発をするべきでは。

答 啓発を進めます

チラシを作成して、地域福祉計画のタウンミーティング等市民や専門家が集まる様々な場で啓発します。

また、ACPをテーマにした伊賀医師会主催の講演会を11月に開催していただく予定です。

問 農業機械導入時の助成を

農業経営の課題の一つがコストの高騰です。特に農業機械の高騰は顕著です。農業機械を導入する際の支援は。

答 伊賀市集落営農支援事業補助金があります

農業機械や農業施設、ドローン等スマート農業機械を導入する集落営農組織に対し費用の一部を補助します。機械導入の補助率は20%、補助上限100万円。スマート機械導入の補助率は40%、補助上限200万円です。

今後は、より活用しやすい制度となるよう見直しを図っていきます。

一般質問

もりなか ひであき
森中 秀哲 議員

質問項目

- 多文化共生を「伊賀の強み」に



問 伊賀市での外国人市民の位置付けは

伊賀市には人口の7%、6千人を超える外国人が、暮らしていますね。

答 地元産業や介護に不可欠な人材です

生産年齢人口の11%は外国人。製造業など雇用事業者の採用意欲は、さらに高まっています。介護現場も、外国人材なしに運営が成り立たない状況です。

問 穏やかな多文化共生を強みに

30年以上の長い共生、高い人権意識、学校・職場・近隣での顔と名前がわかる交流を背景に、伊賀市では穏やかな多文化共

生が進んできました。これを強みに、外国人市民と協働し、地域課題解決に取り組む体制を作りましょう。

答 伊賀らしい多文化共生のまちづくりを進めます(市長)

これまでの歩みを引き継ぎ、地域住民と外国人住民が理解・共感し合いながらまちづくりに取り組む段階に進むべきだと思います。昨今、排外主義的風潮がありますが、行政が正確な情報を伝え、デマや差別に「あかんもんはあかん」と意思表示をすることが重要です。

問 市民参加型の食品ロス削減の取り組みを

食品ロス削減は市民一人一人の意識と行動の積み重ねが大切。「おいしい食べきり」、飲食店との連携、食品ロス削減川柳など取り組んでみては。

答 食品ロスの削減が効果的にできるよう検討します

多様な市民参加の取り組みがまだ足りていないと感じます。食品ロス削減はごみ減量化にもつながります。今後、効果的な展開を検討します。

問 特別支援学校に通う児童生徒の副次的な籍の導入を検討しては

特別支援学校に通う児童生徒は地元小中学校に籍がありません。地元の小中学校に副次的な籍を置き両校を行き来できるシステム導入を検討しては。

答 居住地校交流を行っています

伊賀市ではインクルーシブ教育を推進するために、特別支援学校と協力して居住地校交流を行っています。図画工作の共同制作のほか、体育や生活科での活動、特別支援学校で行っている封筒作りや地元の学校の文化祭の練習を見学してもらうなどしています。

やまぐち やすこ
山口 康子 議員

質問項目

- 食品ロス削減
- 障がいの有無を超えて子どもたちが共に学ぶインクルーシブ教育の推進



みやざき えいき
宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 人と暮らしが中心の自転車まちづくりを
- 伊賀市における神村学園伊賀分校の私学振興



問 自転車の役割をどう捉えるか

自転車活用には、健康づくりや観光振興など幅広い価値があります。市として、役割をどう捉え、自転車活用推進計画の策定の必要性をどう考えますか。

答 生活と観光を支える移動手段です

自転車は日常の移動や観光を支える環境に優しい移動手段です。健康づくりやにぎわい創出に資することから、まずは利用実態を把握し、国の方針や地域特性を踏まえた計画づくりを検討します。

問 神村学園に貸し付けている体育館の修繕を

神村学園に貸し付けている体育館の雨漏りやトイレの不具合について、地域から要望が続いていますが、修繕にどう取り組めますか。

答 市の関与を検討します

市と神村学園との間で締結している土地建物使用貸借契約書において市は維持補修の責を負わないとしています。ただし地域振興や防災施設としての役割もあるため、使用貸借期間が終了する令和9年3月末までに、今後の市の関与を検討する必要があると考えています。

一般質問

すやま みさ
陶山 美佐 議員

質問項目

- 認知症の早期発見、対応
- 在宅療養者の支援体制



問 認知症サポーター養成講座の内容と取り組み状況は

講座は認知症や軽度認知障害（MCI）の早期発見により進行抑制や回復の可能性があることを学び、正しい知識で予防や接し方の改善をめざします。

答 認知症への理解を深めることを目的に講話や寸劇を実施しています

令和6年度は小学校7校でも開催され受講後は見守りや認知症カフェへの参加に繋がっています。

問 行方不明者やひとり歩きへの対応は

GPS端末や見守り安心シールはどの程度実施されていますか。

答 8月時点で41名利用されています

GPS端末や衣服や持ち物に貼付するQRコードシールは今後も周知啓発に力を入れてまいります。

問 在宅療養者等への訪問型サービスは

訪問リハビリやマッサージの内容や制度は。

答 訪問リハビリは介護保険、訪問マッサージは医療保険です

訪問リハビリは要介護1以上専門職のプランに基づき介護保険で利用可能です。訪問マッサージは医師の同意が必要で医療保険の対象です。

問 地方たばこ税を活かした事業を展開してはどうか

毎年、伊賀市には約7億円の地方たばこ税が収入としてあります。この税は、一般財源化されています。しかし、令和6年度総務省自治税務局から、たばこ税の活用を含め、必要な予算措置を講ずるなど積極的に取り組んでもらいたいとの事務連絡も发出されています。

そこで、分煙社会の実現と環境美化に資するまちづくり政策を展開すべきです。

答 観光都市として屋外喫煙所の整備などを検討したい

成人の14.8%、7人に1人が喫煙者です。

問 9月に行われた県議補選で、市長という立場で特定候補者の選挙活動に従事された事についての見解は

市長が県議時代、立場上、公平、公正、中立でなければならないとの質問を知事にされています。法令違反をしていなくても、モラルの観点から慎むべきではないですか。

答 地方政党の代表を地方自治体の長が務めていることが、散見されます モラルの問題は存在していません（市長）

にしぐち かずしげ
西口 和成 議員

質問項目

- 地方税を活用したまちづくり
- 多文化共生社会実現の取組み
- 市長の政治姿勢



う えだ のりひさ
上田 宗久 議員

質問項目

- 上野総合市民病院の老朽化の現状と将来像
- 新たな地域医療構想の基本的な方向性



問 市民病院の老朽化と耐震性およびハザードマップにおける課題は何ですか

答 老朽化が進んでいることに加え、三重県建築基準条例の規制も受けるため建替えの検討が必要だと考えます

本館は、平成22～23年度の耐震補強工事でも新耐震基準は満たしていますが、建築後47年が経過しています。本館の南側は土砂災害警戒区域の急傾斜地に指定され、加えて三重県建築基準条例（通称：がけ条例）による建築規制の対象に該当しています。

問 今後の伊賀地域三基幹病院の共存は可能と思われますか

答 人口減少により、現状のまま運営を続けるのは現実的でないと考えています

県から「医師少数スポット」に指定されている伊賀地域は看護師や薬剤師の確保もさらに厳しくなると予想します。しかし、急性期病院が1つだけになっても良いのか等の問題もあり、三病院がどのような医療機能を担うべきか等について地域医療構想調整会議で検討していく必要があります。

一般質問

おおいし りょうこ
大石 亮子 議員

質問項目

- 伊賀らしい特色のある移住政策を
- 自然保育をどう広げるか
- 阿山の公共施設



問 子どもの力を伸ばす自然体験を

自然の中で遊ぶ体験が多い子どもは、家庭の経済状況にかかわらず成長に良い影響があると言われています。AI時代を生きる子どもたちにとって、自然保育の推進はとても大切です。今年度の進捗と今後の取り組みについて伺います。

答 保育士の実践を中心に里山活用へ

今年度は「みえ森林教育アドバイザー」に採択され、保育士が自然体験を通じて保育にどう生かすか学んでいます。農林振興課 未来の山づくり推進室と協力し、地域の理解を得ながら里山での体験を広げたいと考えています。

問 阿山の公共施設について検討状況は

進捗が見えず住民より憤りの声が上がっています。今後の進め方をお伺いします。

答 庁内会議を設置し、検討を加速

文化センターとふるさとの森を所管する部局、阿山支所、資産経営課で庁内会議を設置し、提言や施設状況を整理し、年度内に市の考えをまとめます。

住民と共に、加速して取り組みます。
(市長)

問 過去の事件を繰り返さないためには

全国の学校への不審者侵入による子どもの殺傷事件についての見解は。

答 安心して学べる環境が必要

全国では、これまでに学校へ不審者が侵入して児童生徒が被害を受ける痛ましい事件が発生しています。多くの児童生徒が傷つく事や命が奪われる事は社会全体に大きな衝撃を与えました。教育委員会としては子どもが安心して学び、成長できる環境を守る事を最優先に今後も取り組みを進めてまいります。

問 学校での安全の確保のために

学校への防犯システムの導入についてどのように考えますか。

答 施設整備の検討が必要

市内には小学校18校、中学校10校がありますが、防犯カメラの設置状況としては現在、半数となっております。今後、児童生徒等の安全確保、防犯対策の強化のために防犯カメラを含め様々な防犯対策について関係部局と協議を行い、令和8年度からの国の補助事業を活用できるように施設整備の検討を行ってまいります。

うち原 あつし
内原 篤 議員

質問項目

- 子どもの安全と今後の対策



てらむら きょうこ
寺村 京子 議員

質問項目

- 未満児保育に対する取り組みの進捗と中期的な見通し
- 観光客受入環境整備の取り組みと次期伊賀市観光振興ビジョンは



問 0～2歳の私的待機児童対策、民間活用による早期解決を

私的待機児童は市街地の0～2歳児に集中しています。今困っているご家庭のため、民間の地域型保育を早期に実現し、解決につなげてください。また、乳幼児健診とあわせた入所相談を継続し、保護者のニーズ把握をお願いします。

答 早期開設をめざします

地域型保育については事業者の開設意向を調査し、できるだけ早期の開設をめざします。入所相談についても継続実施します。

問 駅前観光案内所は必要では

7月から上野市駅前観光案内所が無人化されました。街歩きや歴史を楽しむ伊賀市では、地元の人との交流の起点となる案内所の役割は大きく、市営駐車場収益を活用するなどして再事業化を検討できませんか。

答 受入環境整備と財源を併せ検討します

旧上野市庁舎SAKAKURA BASEに観光案内機能を集約し、駅前では案内看板を充実させる方針です。駐車場収益など安定財源の検討と併せ、観光客の受入環境整備を進めます。

一般質問

にしだ みちかず
西田 方計 議員

質問項目

- 高校生年代への通学費支援の継続を
- 地域共生社会をめざした相談事業の充実を



問 伊賀鉄道やJR・近鉄・三重交通バス等、高校生年代に対する通学費支援の継続を

通学定期代の助成は利用促進策である以上に、高校生や保護者にとっては、子育ての支援、教育費格差を軽減するといった目的を有する支援策です。進路選択にも影響を与えるこの時期に、両制度を工夫するなどして、早く継続の判断をすべきではないですか。

答 県への要請も行い、財源とともに研究して考えていきます

公共交通の利用促進はもちろん、福祉面での子育て支援策として、また教育面での子どもたちの進路を保障する支援策と

捉え、しくみを研究し実現に向け検討します。

問 隣保館の相談事業を地域共生社会づくりのモデルに

隣保館の歴史や取り組みに学ぶとともに、資格「隣保事業士」の取得を奨励し、広く社会一般の福祉施策を進めてください。

答 隣保館の相談手法を活かしていきます

市民の生活を丸ごと受け止めてきた隣保事業と連携し包括的な支援を進めていきます。

問 ごみ処理における公民連携とは

令和16年度の稼働をめざすごみ処理広域化の事業方式のうち、公民連携について説明してください。

答 一般廃棄物と産業廃棄物を混焼します

自治体が土地を民間事業者提供し、事業者がごみ処理施設を建設、所有し独立採算で事業運営をします。採算性を確保するため、一般廃棄物以外に産業廃棄物を合わせて処理することを前提としています。

問 公民連携での議会の関与のあり方は

答 薄くなります

民間主導の取り組みになるため、公共の関わりが小さくなるのと同様に、議会の関わりも薄くなります。

問 ごみ処理広域化の市民説明会の開催を

市民生活に関わのごみ処理広域化について、説明会の開催を求めます。

答 市民説明会を開催します

市民と共に作ることをめざし、説明会を開催します。高いか安いだけで決めるのではなく、公が安心安全を担保でき、民主的なガバナンスが働くようなごみ処理の形が大切だと考えています。(市長)

ももがみ まな
百上 真奈 議員

質問項目

- ごみ処理広域化の進捗
- 障がい者の地域生活支援



☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

議会運営委員、会派代表者に変更がありました。

市川岳人氏が三重県議会議員補欠選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、令和7年8月29日付けで市議会議員の職は自動失職となりました。

それに伴いまして、議会運営委員、会派代表者に変更がありましたのでお知らせします。

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長 令和7年9月4日現在

◎西口 和成
寺村 京子
森中 秀哲

○北山 太加規
山口 康子
中岡 久徳

会派

◎代表者

令和7年8月30日現在

新しい伊賀

◎寺村 京子

陶山 美佐

伊賀市議会議員政治倫理審査会 審査結果の概要

議会運営委員会が計画した北海道登別市への視察研修に関する森中秀哲議員のSNS発信について、伊賀市議会議員政治倫理条例（以下「条例」）ならびに伊賀市議会議員政治倫理条例施行規則（以下「規則」）に基づき、伊賀市議会議員政治倫理審査会（以下「審査会」）が開催されました。規則第7条に基づき、下記のとおり、審査結果の概要として経緯と結論（概略）を公表します。なお、詳細は二次元コードからご覧ください。

調査請求について

7月3日 桃井弘子議員（代表）他5名の議員が条例第4条に基づき、調査請求書を赤堀久実議長に提出

違反するおそれがあると認められる者の氏名

森中秀哲議員

違反の内容

事実と異なる情報を発信し、議会の品位と名誉を損なう行為を行った。

違反の根拠 条例第3条第7号

政治倫理審査会の設置と審議について

議長が、条例第5条及び第6条に基づき議会運営委員会に調査請求の適否を諮ったうえで、審査会を設置し、政治倫理基準違反の行為の存否の審査を依頼

・審査会委員（6名）会長 西口和成議員

会議は、6回開催（7月9日、15日、18日、8月8日、20日、22日）

森中秀哲議員に係る伊賀市議会議員政治倫理審査会審査結果報告書について（概要）

- ① 県議会議員補欠選挙立候補に伴う辞職予定議員に対する行政視察の効果に関する発信
→心情を述べているに過ぎず、議会の品位と名誉を損なった具体的な事実は認められない。
- ② 行政視察にかかる行程及び費用に関する発信
→税金を使って温泉旅行に行くかのような認識や誤解を与える発信であり、議会の品位と名誉を損なう行為であると認められる。
- ③ 行政視察への副議長の参加に関する発信

→副議長の行政視察への参加を提案した議員を誤認して発信したもので、結果的に視察研修のありようを一議員が意図的に変更させたかのような疑念を抱かせてしまう発信となっており、議会の品位と名誉を損なう行為であると認められる。

- ④ 行政視察に対する「熱量」に関する発信

→当該発信が要因となり議会の品位と名誉を損なった具体的な事実は認められない。

（結論）調査請求のあった事案について審査した結果、SNSへの投稿内容のうち、行政視察にかかる行程及び費用に関する発信、行政視察への副議長の参加に関する発信は、条例第3条第7号に規定する政治倫理基準に違反していると認められる。

（講じるべき措置の内容）条例第9条の規定に基づく措置については、「その他議長が必要と認める措置」を講じられんことを付言する。

令和7年8月22日

伊賀市議会議員 赤堀久実 様

伊賀市議会議員政治倫理審査会 会長 西口和成

審査結果後の措置について（文書注意）

令和7年8月26日

伊賀市議会議員 森中秀哲 様

伊賀市議会議員 赤堀久実

（文書の内容）

デジタル情報が圧倒的な影響力を持つようになった現在、誤情報、真偽不明情報、恣意的な情報がSNS上に多く存在する。特に読み手に関心のある情報ほど拡散されやすいが、その情報は拡散の過程で単純化、平準化され、一部分だけが強調・増幅し、その真偽等を問わず広く拡散されていき、結果、複雑な議論や冷静な議論がしにくくなっていく。SNSにはこのような特徴があるが、公人である議員の情報発信は、その影響力を十分に考慮し、情報発信は、議員及び議会の品位と名誉を損なう可能性があることを常に意識し、市民の範となるよう、慎重に行われることを強く求める。



伊賀市議会ホームページ▶



活動報告 産業建設常任委員会

出前講座

上野電気工事協同組合との意見交換会 (7月16日)

地域を支える電気工事業者の声

産業建設常任委員会は、上野電気工事協同組合の皆さんと意見交換を行いました。組合からは「災害時の安全確保や高齢者へのボランティア活動など地域に不可欠な役割を担っている一方で、資材高騰や担い手不足、入札制度の不公平感に直面している」との声が寄せられました。

入札制度への課題提起

近年は ESCO 事業やリース方式、物品発注の増加により、地元業者が入札主体になれないケースが増えています。設計・見積を無償で対応しても最終的に域外大企業に発注される実態もありました。委員からは「分離発注や JV 方式など、地元業者を活用する仕組みづくりが必要」との意見が出されました。



地域の暮らしを支える電気工事業者の皆さんと



所管事務調査 (9月1日)

産業振興条例アクションプラン

伊賀市産業振興条例を具体化するアクションプランについて、市から説明を受けました。

伊賀市の地域経済循環率は116%と比較的高水準である一方、消費の市外流出が課題です。

委員からは、

- ・大規模事業者と小規模事業者では課題が異なるため分野別対応が必要
- ・地元発注を明確な目標に据えるべき
- ・条例の市民への浸透が不十分であり、認知度向上が不可欠

といった意見がありました。

市は「循環率の向上を大きな目標としつつ、関係部局と課題を共有し、具体的なアクションプランの策定につなげていく」と答えました。



令和2年に策定。具体的な成果を上げるには？

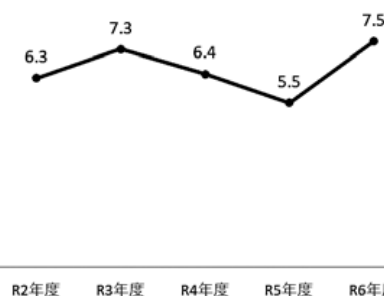
ふるさと納税

令和6年度の寄附額は7億5,134万円（過去最高）、件数は2万2,175件でした。伊賀焼土鍋、伊賀米、炭酸水、宿泊券などが人気を集めました。市長からは「10億円をめざす」との方針が示され、返礼品の開発やリピーター獲得、伊賀製品のブランド化を進めると報告がありました。

委員からは、

- ・事業者HPから寄附サイトへ誘導を広げるべき
 - ・伊賀米ブランドの発信を強化すべき
 - ・寄附金増加のためには体制強化も必要では
- といった意見があり、市は「庁内関連部局や民間団体とも連携し、伊賀ブランドの発信と事業者支援を進める」と答えました。

伊賀市ふるさと応援寄附金の推移（億円）



令和6年度は最高額だが、それ以前は低迷していたふるさと納税



活動報告

地域意見交換会を開催しています

伊賀市議会では、今年度住民自治協議会を対象に、市議会議員と市民が自由に情報及び意見の交換を行い、よりよい市政や政策提言につなげていくための地域意見交換会を実施しています。

議長を除く 21 人の議員を 7 班に分けて、地域にうかがっております。終了次第、順次報告をさせていただきます。それぞれの報告書は、市議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

地域の声、
議員と語ろう！



伊賀市議会▲
ホームページ



丸柱 7月14日(月)

- 小規模農地保全（農空間保全活性化）事業
- 地域コミュニティの課題とその再生
- 阿山の公共施設（阿山ふるさとの森公園、あやま文化センター）の今後



花垣 7月14日(月)

- 環境・ゴミ処理問題
- 少子高齢化
- 地域イベントの減少

博要 7月15日(火)

- 移住促進の地域の取り組みと行政の支援
- 獣害対策

花之木 7月17日(木)

- 地域の安全対策
- 獣害対策・農業環境

鞆田 7月18日(金)

- あやま文化センター周辺の公共施設
- 地域交通
- 消防分署の統合

中瀬 7月23日(水)

- 弱者の公共交通
- 獣害対策活動



八幡町 7月25日(金)

- 八幡地区の現状
- 避難訓練

上津 7月29日(火)

- 地域防災
- 少子高齢化
- 空き家対策

諏訪 8月2日(土)

- バス廃止・移動手段
- 獣害対策
- 高齢による草刈り対策
- 消防団のなり手不足

阿保 8月5日(火)

- 現在の市職員の体制
- 地域の防犯・防災
- 地域を良くするために

神戸 8月6日(水)

- 地域運行バス「かんべ北斗号」
- 旧神戸小学校の跡地利用

壬生野 8月8日(金)

- 中学校統合
- 消防署再編
- 指定管理

友生 8月19日(火)

- 地域交通
- 在宅高齢者の福祉
- 市民センター条例・指定管理



府中 8月26日(火)

- 人口減少に伴う様々な課題
- 小学生・中学生の通学の安全対策

古山 8月26日(火)

- 市指定避難所（旧古山小学校）の雨漏り改修
- 消火栓用ホース更新に係る助成枠拡大
- 不法投棄の巡回監視の強化
- 矢田川の改修

三田 8月28日(木)

- 空き家対策
- 獣害対策
- 内水氾濫対策



上野南部 9月12日(金)

- 都市計画道路『南平野木興線』の整備
- 自治会、民生委員等の担い手不足
- 避難場所を備えた上野南部地区市民センターの建て替え

久米 10月6日(月)

- 都市計画道路『南平野木興線』の状況

※10月10日までに開催した地域意見交換会について掲載しています。



活動報告

病院・医療等のあり方特別委員会

提言書は、市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。
伊賀市議会ホームページ二次元コード▶



持続可能な医療提供体制の早期確立を市長に提言書提出

「病院・医療等のあり方特別委員会」では、今年2月から上野総合市民病院、消防本部、健康福祉部への調査ののち委員間で議論を重ねて提言書を取りまとめました。8月8日、議長から市長に委員と共に提言書を手渡しました。

「産科医療・小児医療・救急・災害時医療体制の不安定性」「上野総合市民病院の深刻な老朽化と不明確な将来像」「医師・看護師など医療人材の慢性的な不足」「近隣市町との連携や在宅・介護分野との情報共有体制」など調査で浮かび上がった課題を解決するため、下記4点を提言しました。

①上野総合市民病院の計画的かつ早期の建て替えの推進、②必要な診療科目への公的関与と民間医療機関との連携強化、③広域的かつ地域完結型医療の両立に向けた連携強化、④医師など医療人材の確保と支援策の充実

今後、年1回以上、議会に対して進捗状況を報告するよう、併せて求めました。



病院・医療等のあり方特別委員会

◎委員長 ○副委員長 令和7年8月8日提言書提出時点

◎市川 岳人 ○桃井 弘子
山口 康子 森中 秀哲 西口 和成
山下 典子 百上 真奈

開会会議、令和7年12月定例月会議(会議期間22日間) 日程(予定)

11月14日(金)	開会会議
11月28日(金)	本会議(議案上程等)
12月5日(金)	本会議(一般質問)
8日(月)	本会議(一般質問)
9日(火)	本会議(一般質問)
10日(水)	各常任委員会(予算・決算を除く)
11日(木)	各常任委員会(予算・決算を除く)
12日(金)	各常任委員会(予算・決算を除く)
15日(月)	予算常任委員会
19日(金)	本会議(採決等)

※本会議、予算常任委員会は、午前10時から始まります。その他の各常任委員会は、本会議初日に決定します。
※日程は、変更になる場合があります。

本会議・予算常任委員会の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。(再放送は午後7時から)また、本会議・各常任委員会・予算常任委員会の模様は、伊賀市議会チャンネル(YouTube)でも録画配信しています。ぜひご覧ください。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTubeをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



伊賀市議会ホームページ

伊賀市議会

検索

編集 後記

表紙と裏表紙の「人と地域がつながってイキイキ活動紹介」シリーズが、今号の花垣地区で節目となる10回目を迎えました。

取材直前の8月5日、広報広聴委員会全員で広報づくりの研修を受講してきました。ということで、今号は写真やキャプション、記事のレイアウト、二次元コードによる詳細情報への誘導など、できる箇所から読みやすさや向上すべく工夫してみました。

よりいっそう、親しみをもってもらえる紙面づくりのため、市民の皆様からのご意見ご感想を心からお待ちしています。(副委員長：西田方計)

人と地域がつながって イキイキ活動紹介

指定管理者制度を導入した住民自治協議会を紹介する第10回。今回は上野エリアの西部、奈良との県境にあって名阪国道が地域を横断している花垣地区住民自治協議会を訪ねました。

Q：花垣地区の紹介をしてください。

A：人口約1300名、世帯数約680世帯、予野、白樫、治田、大滝、桂の農村集落5区で構成されていますが、地理的に離れていることを克服するため、お互いにとにかく集まろうという意欲が強い地域だと思っています。

花垣地区内には、芭蕉翁が「一里は皆花守の子孫かや」と俳句を残した八重桜をはじめ、流鏝馬（やぶさめ）で有名な岡八幡宮、服部半蔵ゆかりの千賀地城跡など史跡が豊富です。また「青い目の人形ハイネ」が先の大戦の戦禍を乗り越え、現在に保存され語り継がれています。

Q：「エリザベス・ハイネちゃん」について教えてください。

A：約100年前の昭和2（1927）年、日米対立の緊張を和らげようと米国から日本各地の学校に配られた人形の一つです。大戦中には敵視され処分の運命にあったところを乗り越えた貴重な人形で、伊賀市で2体（全国では343体）残る一つがハイネちゃん、市民センターに保管されています。最近、当地区のキャラクターとしてハイネちゃんを取り上げ、花垣地区のテーマソングや動画などを作って地区内外に発信しています。



花垣地区住民自治協議会ホームページ▶



玉入れに全力集中だ！
（スポーツ大会 2024 年）



日米友好の歴史を学ぼう
エリザベス・ハイネちゃん
@成和西小学校

Q：住民自治協議会の活動もユニークな発想があふれていますね。

A：住民自治協議会でドローン資格取得をバックアップし、デジタル担当を配置しています。住民自治協議会の情報はSNS等のデジタル技術を活用し若い世代にも親しみやすい周知方法を工夫しています。

秋のスポーツ大会では、住民のリフレッシュの機会、健康への気づきを深めるような目的で開催しています。例えば、靴飛ばしや各種体力測定など個人記録を残すことで、健康への意欲と住民相互の交流、加えて「また来年も」という意識向上をめざしています。

また、今年度は市の総合防災訓練の開催地となったため、行政当局とも連携を密にし、防災部会を改組し設置しました。専門家の講演会等へも多数の住民が参加し、まずは自分の命を守り、そのうえで近隣の支え合いを充実させていく考え方が地区内に広まってきました。

Q：指定管理にしてよかったこと、今後の抱負などは…

A：柔軟な勤務体制が組め、何より住民自治協議会の仕事を充実させることができています。今後も女性や若者の意見や行動力を活かし、運動場や体育館の夜間利用も含め、幅広い年齢層の皆さんの活動拠点としていきたいです。



本番さながらに
（救命救急講習会）